

令和2年度 北陸信越運輸局管内における 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価

■ 地域間幹線系統(5件)

【新潟県】

- 1) 新潟県生活交通確保対策協議会 1

【長野県】

- 2) 長野県公共交通活性化協議会 12

【富山県】

- 3) 富山県生活路線バス協議会 17

【石川県】

- 4) 石川県生活交通の確保に関する地域協議会 22
5) 中能登町地域公共交通協議会 23

■ 地域内フィーダー系統(66件)

【新潟県】

- 6) 村上市地域公共交通活性化協議会(村上市) 24
7) 阿賀野市地域公共交通協議会(阿賀野市) 27
8) 上越市地域公共交通活性化協議会(上越市) 34
9) 見附市地域公共交通活性化協議会(見附市) 40
10) 三条市地域公共交通協議会(三条市) 41
11) 胎内市地域公共交通協議会(胎内市) 45
12) 柏崎市地域公共交通活性化協議会(柏崎市) 47
13) 新発田市地域公共交通活性化協議会(新発田市) 49
14) 佐渡市地域公共交通活性化協議会(佐渡市) 51
15) 粟島浦村地域公共交通協議会(粟島浦村) 53
16) 五泉市地域公共交通活性化協議会(五泉市) 54
17) 魚沼市地域公共交通協議会(魚沼市) 56
18) 燕・弥彦地域公共交通会議(燕市・弥彦村) 62
19) 妙高市地域公共交通協議会(妙高市) 65
20) 南魚沼市地域公共交通協議会(南魚沼市) 67
21) 小千谷市地域公共交通協議会(小千谷市) 70

次ページに続く

令和2年度 北陸信越運輸局管内における 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価

■ 地域内フィーダー系統(66件)

前ページより

【長野県】

22) 飯田市地域公共交通改善市民会議(飯田市) ……	71	38) 立科町地域公共交通活性化協議会(立科町) ……	153
23) 上田市公共交通活性化協議会(上田市) ……	82	39) 豊丘村地域公共交通会議(豊丘村) ……	160
24) 松川町地域公共交通対策協議会(松川町) ……	98	40) 茅野市・原村地域公共交通活性化協議会(茅野市・原村) ……	161
25) 伊那市地域公共交通協議会(伊那市) ……	101	41) 川上村地域公共交通活性化協議会(川上村) ……	168
26) 長野市公共交通活性化・再生協議会(長野市) ……	108	42) 辰野町地域公共交通会議(辰野町) ……	169
27) 安曇野市地域公共交通協議会(安曇野市) ……	110	43) 佐久市地域公共交通確保維持改善協議会(佐久市) ……	171
28) 信濃町地域公共交通協議会(信濃町) ……	111	44) 飯山市地域公共交通会議(飯山市) ……	177
29) 岡谷市地域公共交通活性化協議会(岡谷市) ……	116	45) 塩尻市地域公共交通会議(塩尻市) ……	178
30) 須坂市地域公共交通会議(須坂市) ……	117	46) 諏訪市地域公共交通協議会(諏訪市) ……	179
31) 中野市地域公共交通対策協議会(中野市) ……	119	47) 西部コミュニティバスを守り育てる会(根羽村・平谷村) ……	182
32) 生坂村地域公共交通協議会(生坂村) ……	122	48) 駒ヶ根市地域公共交通協議会(駒ヶ根市) ……	183
33) 青木村地域公共交通会議(青木村) ……	125	49) 中川村地域公共交通会議(中川村) ……	185
34) 阿智村地域公共交通協議会(阿智村) ……	129	50) 千曲市地域公共交通活性化協議会(千曲市) ……	187
35) 下伊那南部地域公共交通対策協議会 (阿南町・売木村・天龍村・泰阜村・下條村) ……	142	51) 大鹿村地域公共交通会議(大鹿村) ……	188
36) 朝日村地域公共交通協議会(朝日村) ……	148	52) 喬木村地域公共交通会議(喬木村) ……	189
37) 松本市地域公共交通協議会(松本市) ……	150	53) 高山村地域公共交通協議会(高山村) ……	190
		54) 山ノ内町地域公共交通会議(山ノ内町) ……	191

次ページに続く

令和2年度 北陸信越運輸局管内における 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価

■ 地域内フィーダー系統(66件)

前ページより

【富山県】

- 55) 魚津市公共交通活性化会議(魚津市)192
- 56) 小矢部市地域公共交通活性化協議会(小矢部市)197
- 57) 滑川市地域公共交通会議(滑川市)207
- 58) 黒部市公共交通戦略推進協議会(黒部市)215
- 59) 氷見市地域公共交通会議(氷見市)221
- 60) 砺波市地域公共交通会議(砺波市)223

【石川県】

- 61) 加賀市地域公共交通活性化・再生協議会(加賀市)225
- 62) 内灘町地域公共交通協議会(内灘町)227
- 63) 津幡町地域公共交通活性化協議会(津幡町)229
- 64) 輪島市地域公共交通会議(輪島市)232
- 65) 宝達志水町地域公共交通協議会(宝達志水町)233
- 66) 珠洲市地域公共交通活性化協議会(珠洲市)234
- 67) 穴水町地域公共交通協議会(穴水町)236
- 68) 小松市地域公共交通活性化協議会(小松市)237
- 69) 七尾市地域公共交通協議会(七尾市)238
- 70) 中能登町地域公共交通協議会(中能登町)240
- 71) 志賀町地域公共交通活性化協議会(志賀町)242

■ 離島航路(3件)

【新潟県】

- 72) 佐渡航路確保維持改善協議会243
- 73) 粟島浦村地域公共交通協議会244

【石川県】

- 74) 輪島市離島航路改善協議会245

令和2年度 北陸信越運輸局管内における 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価

■ 調査事業[計画策定事業](9件)

【新潟県】

- 75) 柏崎市地域公共交通活性化協議会(柏崎市) ……246
- 76) 見附市地域公共交通活性化協議会(見附市) ……247
- 77) 村上市地域公共交通活性化協議会(村上市) ……248
- 78) 魚沼市地域公共交通協議会(魚沼市) ……249

【長野県】

- 79) 松本市地域公共交通協議会(松本市) ……250

【石川県】

- 80) 小松市地域公共交通活性化協議会(小松市) ……251
- 81) 内灘町地域公共交通協議会(内灘町) ……252
- 82) 宝達志水町地域公共交通協議会(宝達志水町) ……253
- 83) 羽咋市地域公共交通協議会(羽咋市) ……254

■ 調査事業[計画推進事業](1件)

【長野県】

- 84) 千曲市地域公共交通活性化協議会(千曲市) ……255

■ 地域公共交通バリアフリー化調査事業(1件)

【新潟県】

- 85) 糸魚川市移動等円滑化促進方針推進協議会(糸魚川市)・256

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

北陸信越運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果		
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果		
新潟県生活交通確保対策協議会	新潟交通(株)	新潟～豊栄	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年3月にダイヤ改正を実施した。 ・令和2年7月、夏休みこどもりゅうと50円バスを実施。令和2年9月20日(バスの日)にICカードりゅうとのチャージに対してノベルティ(エコバッグ)をプレゼントするキャンペーンを展開。 ・コロナ禍において近距離圏の外出・行楽(マイクロツーリズム)が推奨されていることを受け、1日乗り放題券(ふらばすチケット)を販売、メディア(地元テレビ局)での特集などを通じ発信・拡販につとめた。 	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	<ul style="list-style-type: none"> 輸送人員前年度比較: 93% R1 150千人 R2 139千人 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響による輸送人員の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による行動変容を踏まえた利用動態を分析し、ダイヤ改正及び競合路線の時刻調整を検討する。 ・バスをはじめ公共交通機関の利用促進に繋がる広報・啓発活動を関係機関と連携し継続的に実施する。 ・車両の衛生対策(光触媒コーティング)を実施した事をPRL利用回復(促進)に繋げる。 	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	新潟交通観光バス(株)	新潟～新発田	<ul style="list-style-type: none"> ・新発田市内のコミバス等の地域内交通路線・ダイヤの見直しによる相互連携により利便性アップを図った。 	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	<ul style="list-style-type: none"> 輸送人員前年度比較: 85% R1 349千人 R2 297千人 ・新型コロナウイルスの影響による外出・移動控えや休校、在宅勤務によるバス利用の減少。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用者の動態を精査し、市町村などと連携して、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。 	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	新潟交通観光バス(株)	新潟～水原	<ul style="list-style-type: none"> ・所要時分の見直しによる定時性・利便性アップを図った。 	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	<ul style="list-style-type: none"> 輸送人員前年度比較: 84% R1 201千人 R2 168千人 ・新型コロナウイルスの影響による外出・移動控えや休校、在宅勤務によるバス利用の減少。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用者の動態を精査し、市町村などと連携して、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。 	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	新潟交通観光バス(株)	新潟～新津① (万代シテイ～沢海～秋葉区役所)	<ul style="list-style-type: none"> ・所要時分の見直しによる定時性・利便性アップを図った。 	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	<ul style="list-style-type: none"> 輸送人員前年度比較: 88% R1 68千人 R2 60千人 ・新型コロナウイルスの影響による外出・移動控えや休校、在宅勤務によるバス利用の減少。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用者の動態を精査し、市町村などと連携して、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。 	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
新潟県生活交通確保対策協議会	新潟交通観光バス㈱	新潟～京ヶ瀬	・所要時分の見直しによる定時性・利便性アップを図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:84% R1 58千人 R2 49千人 ・新型コロナウイルスの影響による外出・移動控えや休校、在宅勤務によるバス利用の減少。	・バス利用者の動態を精査し、市町村などと連携して、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	新潟交通観光バス㈱	新潟～新津② (万代シテイ～二本木～秋葉区役所)	・所要時分の見直しによる定時性・利便性アップを図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:92% R1 72千人 R2 66千人 ・新型コロナウイルスの影響による外出・移動控えや休校、在宅勤務によるバス利用の減少。	・バス利用者の動態を精査し、市町村などと連携して、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	新潟交通観光バス㈱	新潟～小須戸	・所要時分の見直しによる定時性・利便性アップを図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:77% R1 102千人 R2 79千人 ・新型コロナウイルスの影響による外出・移動控えや休校、在宅勤務によるバス利用の減少。	・バス利用者の動態を精査し、市町村などと連携して、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	新潟交通観光バス㈱	新潟～月潟	・所要時分の見直しによる定時性・利便性アップを図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 輸送人員前年度比較:105% R1 138千人 R2 145千人	・バス利用者の動態を精査し、市町村などと連携して、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点については自己評価のとおりであり、具体的な改善策の実施について、地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	新潟交通観光バス㈱	新津～白根① (白根横町～臼井～新津駅)	・所要時分の見直しによる定時性・利便性アップを図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 輸送人員前年度比較:115% R1 26千人 R2 30千人	・バス利用者の動態を精査し、市町村などと連携して、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点については自己評価のとおりであり、具体的な改善策の実施について、地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	新潟交通観光バス㈱	新津～白根② (白根横町～矢代田～新津駅)	・所要時分の見直しによる定時性・利便性アップを図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 輸送人員前年度比較:105% R1 42千人 R2 44千人	・バス利用者の動態を精査し、市町村などと連携して、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しなどを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点については自己評価のとおりであり、具体的な改善策の実施について、地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	共同運行(新潟交通観光バス㈱)(前期のみ)、泉観光バス㈱、蒲原鉄道㈱	五泉高校前～さくらアリーナ前・村松支所～五泉高校前	・五泉市協議会と連携し、JRIに合わせたダイヤ改正や、市内全世帯に公共交通時刻表冊子を配布及び沿線各施設への時刻表掲示により利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:89% R1 65千人 R1 58千人 政府の休校要請に伴い、沿線にある公立高校が一時的に休校したため、利用する通学生が減少した。	・市協議会とバス事業者が連携し、利便性向上を確保する。 ・JRとの乗継利便性を維持するためのダイヤ改正や地域住民への周知活動を徹底する。 ・令和3年秋に開業する五泉市複合施設への乗り入れを図り、利用者増加に繋げる。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
新潟県生活交通確保対策協議会	越佐観光バス(株)	長辰～燕三条駅	・平日以外に運行日を設定した ・利用促進のため市内全域に対し広報を行った ・利用者の要望を把握するためアンケートを実施した	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:78% R1 32千人 R2 25千人 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響 ・高齢者の利用が減少した	・市町村等と連携し、より効率的な運行となるよう運行計画の見直しを検討する。 ・利用者からの要望を取り入れサービスの向上を図る。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	長岡～三条	・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:82% R1 65千人 R2 53千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	長岡～分水(長岡駅前～興野～分水駅前)	・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:81% R1 54千人 R2 44千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	長岡～今町	・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:84% R1 32千人 R2 27千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	(急行)長岡～栃尾① (急行)長岡駅前～百束～栃尾車庫前)	・競合路線を廃止し効率化を行った。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:80% R1 69千人 R2 55千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	(急行) 長岡～栃尾 ② ((急行)長岡駅前～百束・楡原～栃尾車庫前)	・競合路線を廃止し効率化を行った。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:84% R1 87千人 R2 73千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	(快速) 長岡～栃尾 ① ((快速)長岡駅東口～昭和通り・新榎～栃尾車庫前)	・競合路線を廃止し効率化を行った。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:76% R1 41千人 R2 31千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	(快速) 長岡～栃尾 ② ((快速)長岡駅東口～東バイパス・新榎トンネル～栃尾車庫前)	・競合路線を廃止し効率化を行った。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:79% R1 47千人 R2 37千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	長岡～見附 ① (長岡駅東口～新町・耳取～上見附車庫前)	・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:79% R1 34千人 R2 27千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	長岡～見附 ② (長岡駅東口～新町・浦瀬～上見附車庫前)	・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:80% R1 81千人 R2 65千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	長岡～見附③ (長岡駅東口～麻生田～上見附車庫前)	・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:69% R1 36千人 R2 25千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	(急行)長岡～寺泊① (急行)長岡駅前～李崎・与板～坂井町)	・運行回数の維持・JR接続の時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:68% R1 78千人 R2 53千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	(急行)長岡～寺泊② (急行)長岡駅前～李崎・与板～大野積終点)	・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:82% R1 49千人 R2 40千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	長岡～小島谷	・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:91% R1 23千人 R2 21千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	長岡～十日町	・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:85% R1 123千人 R2 105千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	長岡～小千谷① (長岡駅前～新国道～小千谷インター)	・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:75% R1 40千人 R2 30千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	長岡～小千谷② (急行)長岡駅前～片貝・小栗田～小千谷車庫前)	・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:93% R1 133千人 R2 124千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	長岡～小千谷③ (急行)長岡駅前～片貝・坪野～小千谷車庫前)	・運行回数の維持・競合路線と学校始業との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:75% R1 53千人 R2 40千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	長岡～出雲崎	・競合路線を減便し効率化を行った。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:85% R1 68千人 R2 58千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	長岡～蓮花寺	・平日運行回数0.5回減を行い効率化を行った。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:80% R1 30千人 R2 24千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果		
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果		
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	長岡～与板① (長岡駅前～三ツ郷屋・河根川～与板警察署前)	・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	輸送人員前年度比較:88% R1 25千人 R2 22千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	長岡～柏崎① (快速)長岡駅前～曾地～柏崎駅前)	・平日運行回数0.5回減を行い効率化を行った。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	輸送人員前年度比較:77% R1 86千人 R2 66千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	長岡～柏崎② (急行)長岡駅前～西山～柏崎駅前)	・競合路線を減便し効率化を行った。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	輸送人員前年度比較:77% R1 88千人 R2 68千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	長岡～与板② (長岡駅前～関原三叉路～与板警察署前)	・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A	輸送人員前年度比較:103% R1 36千人 R2 37千人	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点については自己評価のとおりであり、具体的な改善策の実施について、地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	長岡～小国	・運行回数の維持・JR接続との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	輸送人員前年度比較:90% R1 62千人 R2 56千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	三条～八木ヶ鼻	・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:93% R1 43千人 R2 40千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	八木ヶ鼻～地場産	・新設された学校への延伸を行い、利用者の増加に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 輸送人員前年度比較:117% R1 23千人 R2 27千人	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点については自己評価のとおりであり、具体的な改善策の実施について、地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	小千谷～十日町	・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:75% R1 59千人 R2 44千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	小千谷～小国	・運行回数の維持・時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:80% R1 25千人 R2 20千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	柏崎～岡野町① (柏崎駅前～安田～岡野町車庫前)	・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 輸送人員前年度比較:121% R1 29千人 R2 35千人	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ数減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点については自己評価のとおりであり、具体的な改善策の実施について、地域一体となって進めるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
新潟県生活交通確保対策協議会	越後交通(株)	柏崎～岡野町②(柏崎駅前～柏崎総合医療センター～じよんのび村)	・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:93% R1 42千人 R2 39千人 ・コロナ禍による沿線の通勤・通学及び病院への利用に関する利用者減のため	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・減便による効率化だけでなくダイヤ削減による経常費用削減・収支改善を検討する。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	南越後観光バス(株)	小千谷～小出	・運行時刻の見直しを行い、利便性の向上を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:84% R1 67千人 R2 56千人 ・少子化の影響で通学利用が減少。 ・コロナ禍による外出自粛の影響が大きく、バス利用者が減少。	・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しなどを検討して利用者数の維持を目指す。 ・系統の分割、経路の変更等路線の合理的な整理を検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	南越後観光バス(株)	小出～栃尾又	・運行時刻の見直しを行い、利便性の向上を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:82% R1 39千人 R2 32千人 ・少子化の影響で通学利用が減少。 ・コロナ禍による外出自粛の影響が大きく、バス利用者が減少。	・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しなどを検討して利用者数の維持を目指す。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	南越後観光バス(株)	六日町～小出	・運行時刻の見直しを検討したが、実施しなかった。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:84% R1 55千人 R2 46千人 ・少子化の影響で通学利用が減少。 ・コロナ禍による外出自粛の影響が大きく、バス利用者が減少。	・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しなどを検討して利用者数の維持を目指す。 ・系統の分割、経路の変更等路線の合理的な整理を検討する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	南越後観光バス(株)	六日町～湯沢	・運行時刻の見直しを行い、利便性の向上を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:71% R1 35千人 R2 25千人 ・少子化の影響で通学利用が減少。 ・コロナ禍による外出自粛の影響が大きく、バス利用者が減少。	・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しなどを検討して利用者数の維持を目指す。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	南越後観光バス(株)	十日町～中里～津南	・運行時刻の見直しを検討したが、実施しなかった。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:80% R1 110千人 R2 88千人 ・運行回数をR1年11.3回→R2年9.8回に変更したため。	・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しなどを検討して利用者数の維持を目指す。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
新潟県生活交通確保対策協議会	南越後観光バス(株)	十日町～宮中～津南	・運行時刻の見直しを検討したが、実施しなかった。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 輸送人員前年度比較:250% R1 10千人 R2 25千人	・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しなどを検討して利用者数の維持を目指す。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点については自己評価のとおりであり、具体的な改善策の実施について、地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	頸城自動車(株)	上越妙高駅前～鶴の浜	・H28.10～R2.3.31まで、再編実施計画に基づき運行。 ・バス乗車体験キャンペーンやお得な乗車券のPR・販売等、バス利用促進を実施。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:76% R1 213千人 R2 162千人 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛により、利用者が激減した。	・利用状況の把握に努め、より効率的な運行ができるよう検討する。 ・コロナ感染防止対策を継続し、安心して利用いただけるよう努める。 ・バス事業者、市町村等と連携し、バス利用促進に取り組む。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	頸城自動車(株)	中央病院～新井バスターミナル	・H28.10～R2.3.31まで、再編実施計画に基づき運行。 ・バス乗車体験キャンペーンやお得な乗車券のPR・販売等、バス利用促進を実施。 ・R2.4.1に大型商業施設へ路線延伸し、利便性向上を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:94% R1 81千人 R2 76千人 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛により、利用者が激減した。	・利用状況の把握に努め、より効率的な運行ができるよう検討する。 ・コロナ感染防止対策を継続し、安心して利用いただけるよう努める。 ・バス事業者、市町村等と連携し、バス利用促進に取り組む。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	頸城自動車(株)	鶴の浜～柿崎バスターミナル	・H28.10～R2.3.31まで、再編実施計画に基づき運行。 ・R2.4.1から幹線対象外となる。 ・バス乗車体験キャンペーンやお得な乗車券のPR・販売等、バス利用促進を実施。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:63% R1 8千人 R2 5千人 ・今年度は半期の実績で、コロナの影響が少なく、半期の比較では利用者が増えた。	・R2.4.1から幹線対象外となる。 ・引き続き、利用状況の把握に努め、より効率的な運行ができるよう検討する。 ・バス事業者、市町村等と連携し、バス利用促進・コロナ感染防止対策に取り組む。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点については自己評価のとおりであり、具体的な改善策の実施について、地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	頸城自動車(株)	マルケーバスター～浦川原バスターミナル	・H28.10～R2.3.31まで、再編実施計画に基づき運行。 ・R2.4.1から幹線対象外となる。 ・バス乗車体験キャンペーンやお得な乗車券のPR・販売等、バス利用促進を実施。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 輸送人員前年度比較:58% R1 67千人 R2 39千人 ・今年度は半期の実績で、コロナの影響が少なく、半期の比較では利用者が増えた。	・R2.4.1から幹線対象外となる。 ・引き続き、利用状況の把握に努め、より効率的な運行ができるよう検討する。 ・バス事業者、市町村等と連携し、バス利用促進・コロナ感染防止対策に取り組む。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点については自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果		
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果		
新潟県生活交通確保対策協議会	くびき野バス(株)	高田駅前～深山荘	・H28.10に上越市の再編実施計画に基づき路線再編(経路変更)を実施。[R2.3.31まで継続] ・バス乗車キャンペーンやお得な乗車券のPR・販売、また総合時刻表の作成・配付等によりバス利用促進を実施	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	輸送人員前年度比較:83% R1 18千人 R2 15千人 ・沿線の小中学生の減少により通学定期券等の購入が減少したことから輸送人員が減少した。	・上越市の再編実施計画に伴う特例期間(R2.3.31まで)が終了したが、引き続き路線は継続されるので、今後の上越市の再編計画に沿って路線を維持していきたい。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	くびき野バス(株)	高田駅前～牧小学校前	・H28.10に上越市の再編実施計画に基づき路線再編(経路変更)を実施。[R2.3.31まで継続] ・バス乗車キャンペーンやお得な乗車券のPR・販売、また総合時刻表の作成・配付等によりバス利用促進を実施	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A	輸送人員前年度比較:129% R1 7千人 R2 9千人	・上越市の再編実施計画に伴う特例期間(R2.3.31まで)が終了したが、引き続き路線は継続されるので、今後の上越市の再編計画に沿って路線を維持していきたい。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点については自己評価のとおりであり、具体的な改善策の実施について、地域一体となって進めるよう期待する。
新潟県生活交通確保対策協議会	新潟交通佐渡(株)	両津～相川	・佐渡市活性協業として、観光客向け(外国人含む)パンフレットを作成し、フリー乗車券も販売し、観光客利用増に努めた。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	輸送人員前年度比較:75% R1 195千人 R2 146千人 ・R2年新型コロナウイルス発生による4月～9月の観光客数大幅減と行政の3月～5月休校措置による学校生徒利用数減。	・新型コロナウイルスの鎮静化、佐渡金銀山の世界遺産登録に向けた動きが進めば、観光客の増加につながるので、佐渡市と連携して活動、誘客に努め、バス利用客増を図る。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

北陸信越運輸局

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
長野県公共交通活性化協議会	長電バス(株)	山田温泉線	乗継拠点であるYOUランドバス乗降場所を整備し、利便性が向上した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量：36.4 に対して 実績輸送量24.7であった。	・車内の換気・消毒を徹底し、旅客の不安感を取り除き、バスが安全な移動手段であることを認識して頂く。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	長電バス(株)	上林線 ※車両減価償却費等国庫補助金	車内表示器をインバウンド対応し、利用促進に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量：24.0 に対して 実績輸送量8.4であった。	・インバウンド需要が見込めないため、地元のお客様へ時刻表を配布し、利用促進を行う。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	長電バス(株)	永田線 ※車両減価償却費等国庫補助金	減便を実施し、費用圧縮に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量：15.3 に対して 実績輸送量5.1であった。	・車内の換気・消毒を徹底し、旅客の不安感を取り除き、バスが安全な移動手段であることを認識して頂く。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	長電バス(株)	屋島線 ※車両減価償却費等国庫補助金	バスの乗り方教室を実施し、お客様のバス利用に対する障壁低減を図った。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標輸送量：21.2 に対して 実績輸送量21.8であった。	・車内の換気・消毒を徹底し、旅客の不安感を取り除き、バスが安全な移動手段であることを認識して頂く。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点については自己評価のとおりであり、具体的な改善策の実施について、地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	長電バス(株)	牟礼線 ※公有民営方式車両購入費国庫補助金	牟礼線を含む、飯綱町内全域でICカードが導入され、利便性が向上した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量：27.8 に対して 実績輸送量22.6であった。	・車内に液晶ディスプレイを導入し、運賃やバス停がはっきり分かるようにし、利便向上に繋げる。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	長電バス(株)	野沢線 ※公有民営方式車両購入費国庫補助金	減便を実施し、費用圧縮に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量：24.4 に対して 実績輸送量16.2であった。	・インバウンド需要が見込めないため、地元のお客様へ時刻表を配布し、利用促進を行う。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
長野県公共交通活性化協議会	長電バス(株)	中野木島線	減便を実施し、費用圧縮に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標輸送量:15.9 に対して 実績輸送量16.6であった。	・車内の換気・消毒を徹底し、旅客の不安感を取り除き、バスが安全な移動手段であることを認識して頂く。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点については自己評価のとおりであり、具体的な改善策の実施について、地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	長電バス(株)	屋代須坂線(須坂駅～屋代駅) ※車両減価償却費等国庫補助金	減便を実施し、費用圧縮に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標輸送量:19.2 に対して 実績輸送量19.7であった。	・コロナ対策に留意しながら、学生に対するバスイベントを複数回実施し、利用促進を図る	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点については自己評価のとおりであり、具体的な改善策の実施について、地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	長電バス(株)	屋代須坂線(須坂駅～松代駅) ※車両減価償却費等国庫補助金	減便を実施し、費用圧縮に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量:18.7 に対して 実績輸送量17.9であった。	・コロナ対策に留意しながら、学生に対するバスイベントを複数回実施し、利用促進を図る	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点については自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	アルピコ交通(株)	高府線(善光寺大門～高府) ※車両減価償却費等国庫補助金	長野市及び小川村地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での低床車両の購入や沿線の学校等に時刻表等の配布を行いより一層の利用促進を図っている。	B 高齢者向けの利用促進事業は適切に実施された。その他の事業についてはコロナ禍においては適切に実施できなかった。	B 目標輸送量37.6 に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量21.7であった。	長野市及び小川村地域公共交通会議と連携し、コロナ禍における感染防止対策の実施や周知を図るなどし、利用促進を図っていく。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	アルピコ交通(株)	高府線(善光寺大門～初引) ※車両減価償却費等国庫補助金	長野市及び小川村地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での低床車両の購入や沿線の学校等に時刻表等の配布を行いより一層の利用促進を図っている。	B 高齢者向けの利用促進事業は適切に実施された。その他の事業についてはコロナ禍においては適切に実施できなかった。	B 目標輸送量21.5 に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量13.2であった。	長野市及び小川村地域公共交通会議と連携し、コロナ禍における感染防止対策の実施や周知を図るなどし、利用促進を図っていく。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	アルピコ交通(株)	鬼無里線 ※車両減価償却費等国庫補助金	長野市地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での低床車両の購入などを行い、より一層の利用促進を図っている。	B 事業についてはコロナ禍においては適切に実施できなかった。	B 目標輸送量42.1 に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量23.2であった。	長野市地域公共交通会議と連携し、コロナ禍における感染防止対策の実施や周知を図るなどし、利用促進を図っていく。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
長野県公共交通活性化協議会	アルピコ交通(株)	県道戸隠線	長野市地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での車両の購入や沿線の学校等に時刻表等の配布を行いより一層の利用促進を図っている。	B 事業についてはコロナ禍においては適切に実施できなかった。	B 目標輸送量39.5 に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量25.8であった。	長野市地域公共交通会議と連携し、コロナ禍における感染防止対策の実施や周知を図るなどし、利用促進を図っていく。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	アルピコ交通(株)	新町大原橋線(善光寺大門～新町)	長野市地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での低床車両の購入や沿線の学校等に時刻表等の配布を行いより一層の利用促進を図っている。	B 事業についてはコロナ禍においては適切に実施できなかった。	B 目標輸送量33.1 に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量19.1であった。	長野市地域公共交通会議と連携し、コロナ禍における感染防止対策の実施や周知を図るなどし、利用促進を図っていく。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	アルピコ交通(株)	新町大原橋線(善光寺大門～大原橋・犀峽高校)	長野市地域公共交通会議と連携し、利便性の高いダイヤの設定・運賃の適正化、中古等での低床車両の購入や沿線の学校等に時刻表等の配布を行いより一層の利用促進を図っている。	B 事業についてはコロナ禍においては適切に実施できなかった。	B 目標輸送量31.5 に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量19.2であった。	長野市地域公共交通会議と連携し、コロナ禍における感染防止対策の実施や周知を図るなどし、利用促進を図っていく。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	アルピコ交通(株)	山形線 ※車両減価償却費等国庫補助金	コロナ禍の影響により、中古の低床車両の購入は中止となったが、協議会と連携して全線時刻表を作成・配布を行ない公共交通利用促進を図っている。	B 車両購入についてはコロナ禍の影響により適切に実施できなかった。	A 目標輸送量31.6 に対して、実績輸送量33.1であった。	山形村及び松本市地域公共交通会議と連携し、コロナ禍における感染防止対策の実施や周知を図るなどし、利用促進を図っていく。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点については自己評価のとおりであり、具体的な改善策の実施について、地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	アルピコ交通(株)	四賀線 ※車両減価償却費等国庫補助金	コロナ禍の影響により、中古の低床車両の購入は中止となったが、協議会と連携して全線時刻表を作成・配布を行ない公共交通利用促進を図っている。	B 車両購入についてはコロナ禍の影響により適切に実施できなかった。	B 目標輸送量28.9 に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量20.0であった。	松本市地域公共交通会議と連携し、コロナ禍における感染防止対策の実施や周知を図るなどし、利用促進を図っていく。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	アルピコ交通(株)	本線 岡谷～茅野線	JR電車の大幅なダイヤ改正がなかったこともあり、運行時刻や運行系統に変更はなかったが、市町村と連携し、時刻表冊子を作成・配布を行い、公共交通利用促進を図っている。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量36.6 に対して、利用者が伸びなかったことから、実績輸送量29.8であった。	慢性的に渋滞する国道20号線を走行する為、一部バス停での時刻見直しを進めるとともに、コロナ禍における感染防止対策の実施や周知を図るなどし、利用促進を図っていく。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
長野県公共交通活性化協議会	千曲バス(株)	佐久上田線	土日祝日の運休を引き続き実施して経費削減を図った。また、上田市運賃低減バス実証運行の利用促進活動を実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量: 15.0 に対して 実績輸送量10.4であった ・コロナ禍の為に大幅に利用者が減少した為と考えられる	沿線自治体からの支援で路線存続を維持しているため、引き続き土日祝日の運休を実施、アイドリリングストップなどで経費削減を図る。運賃低減バスが継続されたため、今後もバス存続に向けて地域への働きかけを実施する。また、新しい生活様式に即した車内設備等を充実させてゆく。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	千曲バス(株)	中仙道線	コミュニティバスとの接続を引き続き実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量: 40.0 に対して 実績輸送量21.4であった ・コロナ禍の為に大幅に利用者が減少した為と考えられる	佐久市内循環バスとの連携を引き続き行い、利用者の利便性を向上させる。また、新しい生活様式に即した車内設備等を充実させてゆく。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	千曲バス(株)	鹿教湯線 (鹿教湯車庫～下秋和) ※車両減価償却費等国庫補助金、 公有民営方式車両購入費国庫補助	高校への定期券出張販売や上田市運賃低減バス実証運行の利用促進活動を実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量: 50.0 に対して 実績輸送量42.9であった ・コロナ禍の為に大幅に利用客が減少した為と考えられる	運賃低減バスが継続されているため、季節に合わせた車内デコレーションやプレゼントキャンペーンなど、引き続き利用促進活動を実施する。また、新しい生活様式に即した車内設備等を充実させてゆく。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	千曲バス(株)	鹿教湯線 (丸子～下秋和) ※車両減価償却費等国庫補助金	高校への定期券出張販売や上田市運賃低減バス実証運行の利用促進活動を実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量: 60.0 に対して 実績輸送量49.2であった ・コロナ禍の為に大幅に利用客が減少した為と考えられる	運賃低減バスが継続されているため、季節に合わせた車内デコレーションやプレゼントキャンペーンなど、引き続き利用促進活動を実施する。また、新しい生活様式に即した車内設備等を充実させてゆく。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	千曲バス(株)	青木線 ※公有民営方式車両購入費国庫補助金	青木村・上田市と連携した運賃低減バス実証運行の利用促進活動を実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標輸送量: 70.0 に対して 実績輸送量62.7であった ・コロナ禍の為に大幅に利用客が減少した為と考えられる	運賃低減バスが継続されているため、季節に合わせた車内デコレーションやプレゼントキャンペーンなど、引き続き利用促進活動を実施する。貨客混載バスを有効活用し、生産性を向上させる。また、新しい生活様式に即した車内設備等を充実させてゆく。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果		
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果		
長野県公共交通活性化協議会	上田バス(株)	真田線	夏休みキッズバスの配布。モビリティマネジメントの実施。回数券、定期券購入者向けの粗品プレゼントキャンペーンの実施。車内装飾を期間限定で実施。	A	計画に位置された事業は適切に実施されている。	B	目標輸送量は20.6人に対して輸送量は15.9人であった	新型コロナウイルス感染症の拡大により乗車率が下がり、収支率も前年に比べ悪化した。感染症拡大防止対策を講じた上で、現状の運行を維持し、バスの乗り方教室や、チラシの配布などによる利用啓発を行う。地区行事の際に積極的な利用啓発を行う。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	上田バス(株)	菅平高原線 ※車両減価償却費等国庫補助金、公有民営方式車両購入費国庫補助金	夏休みキッズバスの配布。沿線近隣の小中学生を対象としたバスの乗り方教室の実施、将来の利用者掘り起し。複数回乗車のお客様に高原野菜プレゼント企画実施。	A	計画に位置された事業は適切に実施されている。	B	目標輸送量は39.2人に対して輸送量は31.0人であった	新型コロナウイルス感染症の拡大により乗車率が下がり、収支率も前年に比べ悪化した。感染症拡大防止対策を講じた上で、菅平観光協会と協力し、今後も野菜のプレゼント等の企画を実施していく。新たに開始したQR決済を周知し利便性向上を促し乗車率増加を目指す。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	上田バス(株)	真田自治センター入口線	夏休みキッズバスの配布。モビリティマネジメントの実施。回数券、定期券購入者向けの粗品プレゼントキャンペーンの実施。車内装飾を期間限定で実施。	A	計画に位置された事業は適切に実施されている。	B	目標輸送量は33.6人に対して輸送量は27.3人であった	新型コロナウイルス感染症の拡大により乗車率が下がり、収支率も前年に比べ悪化した。感染症拡大防止対策を講じた上で、上田市と協力し、引き続きNHK大河ドラマの観光客取り込みを目指す。観光利用客に向け路線案内の充実を図る。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	信南交通(株)	駒場線(中村経由) ※公有民営方式車両購入費国庫補助金	阿智高校の学校行事に合わせ臨時便・続行便運行の他に朝・晩のラッシュ時に密を回避するよう続行便を運行した(継続中)	A	計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	コロナウイルス感染拡大による3月～5月の学校休校による利用者の大幅な減少により輸送量42.3人の目標に対し29.0人と大きく下回り目標達成出来なかった。	利用者の利便性向上策として「阿智村巡回バス乗車券」の共通利用を令和3年度より実施予定	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
長野県公共交通活性化協議会	信南交通(株)	駒場線(市立病院経由) ※公有民営方式車両購入費国庫補助金	利用者が多い通勤・通学便に対し密を懸念して利用者離れとならないよう続行便を運行した(継続中)	A	計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B	コロナウイルス感染拡大による学校休校と市立病院への通院利用者が大幅に減少し輸送量24.9人の目標に対し16.4人と大きく下回り目標達成出来なかった。	利用者の利便性向上策として「阿智村巡回バス乗車券」の共通利用を令和3年度より実施予定	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

北陸信越運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
富山県生活路線バス協議会	富山地方鉄道㈱	滑川 ※車両減価償却費等国庫補助金	バスロケーション情報に関するQRコードを各バス停に貼付し、バスのロケーション情報をPRするとともに、夏休みの親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体との利用促進に取り組み、利用者の増加に努めた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <目標: 県民一人当たりのバスの年間利用回数> 新型コロナウイルスの影響を受け、今年度の利用者は105,695人となり、前年比88%と減少した。	新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、感染症防止対策を実施中である旨をHP等に掲出し、安心して利用できることをPRするとともに、沿線自治体と連携して、利用促進に取り組む。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
富山県生活路線バス協議会	富山地方鉄道㈱	猪谷 ※車両減価償却費等国庫補助金	バスロケーション情報に関するQRコードを各バス停に貼付し、バスのロケーション情報をPRした。加えて、富山市民病院やアピタ富山店に時刻表を掲出するとともに、夏休みの親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体との利用促進にも取り組み、利用者の増加に努めた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <目標: 県民一人当たりのバスの年間利用回数> 新型コロナウイルスの影響を受け、今年度の利用者は147,091人となり、前年比99%と微減した。	新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、感染症防止対策を実施中である旨をHP等に掲出し、安心して利用できることをPRするとともに、富山市や地元住民と連携して、利用促進に取り組む。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
富山県生活路線バス協議会	富山地方鉄道㈱	富山～高岡 ※車両減価償却費等国庫補助金	バスロケーション情報に関するQRコードを各バス停に貼付し、バスのロケーション情報をPRした。加えて、小杉駅前バス停の上屋整備を実施するとともに、夏休みの親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体との利用促進に取り組み、利用者の増加に努めた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <目標: 県民一人当たりのバスの年間利用回数> 新型コロナウイルスの影響を受け、今年度の利用者は219,586人となり、前年比84%と減少した。	新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、感染症防止対策を実施中である旨をHP等に掲出し、安心して利用できることをPRするとともに、沿線自治体や学校と連携して、利用促進に取り組む。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
富山県生活路線バス協議会	富山地方鉄道㈱	富山～小杉 ※車両減価償却費等 国庫補助金	バスロケーション情報に関するQRコードを各バス停に貼付し、バスのロケーション情報をPRした。 加えて、小杉駅前の上屋整備を実施するとともに、夏休みの親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体との利用促進に取り組み、利用者の増加に努めた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数> 新型コロナウイルスの影響を受け、今年度の利用者は93,960人となり、前年比85%と減少した。	新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、感染症防止対策を実施中である旨をHP等に掲出し、安心して利用できることをPRするとともに、沿線自治体や学校と連携して、利用促進に取り組む。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
富山県生活路線バス協議会	富山地方鉄道㈱	山田 ※車両減価償却費等 国庫補助金	バスロケーション情報に関するQRコードを各バス停に貼付し、バスのロケーション情報をPRした。 加えて、ダイヤ改正時に沿線の商業施設ファボーレへの利便性を向上させるため、休日には他の系統を含め、20分に1本のパターンダイヤとするなど、利用者の増加に努めた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数> 新型コロナウイルスの影響を受け、今年度の利用者は108,468人となり、前年比87%と減少した。	新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、感染症防止対策を実施中である旨をHP等に掲出し、安心して利用できることをPRするとともに、富山市・学校・商業施設と連携して、利用促進に取り組む。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
富山県生活路線バス協議会	富山地方鉄道㈱	ファボーレ経 由萩の島 ※車両減価償却費等 国庫補助金	バスロケーション情報に関するQRコードを各バス停に貼付し、バスのロケーション情報をPRした。 加えて、ダイヤ改正時に沿線の商業施設ファボーレへの利便性を向上させるため、休日には他の系統を含め、20分に1本のパターンダイヤとするなど、利用者の増加に努めた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数> 新型コロナウイルスの影響を受け、今年度の利用者は66,824人となり、前年比85%と減少した。	新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、感染症防止対策を実施中である旨をHP等に掲出し、安心して利用できることをPRするとともに、富山市・学校・商業施設と連携して、利用促進に取り組む。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
富山県生活路線バス協議会	富山地方鉄道㈱	富山国際大学 ※車両減価償却費等 国庫補助金	バスロケーション情報に関するQRコードを各バス停に貼付し、バスのロケーション情報をPRした。 加えて、富山市民病院に時刻表を掲出するとともに、夏休みの親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体との利用促進にも取り組み、利用者の増加に努めた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数> 新型コロナウイルスの影響を受け、今年度の利用者は153,234人となり、前年比77%と減少した。	新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、感染症防止対策を実施中である旨をHP等に掲出し、安心して利用できることをPRするとともに、沿線自治体・学校と連携して、利用促進に取り組む。(平成30年度・令和元年度と2年連続の黒字路線)	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果		
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果		
富山県生活路線バス協議会	富山地方鉄道(株)	月岡団地經由福沢 ※車両減価償却費等国庫補助金	バスロケーション情報に関するQRコードを各バス停に貼付し、バスのロケーション情報をPRした。 加えて、富山市民病院に時刻表を掲出するとともに、夏休みの親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体との利用促進にも取り組み、利用者の増加に努めた。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B	<目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数> 新型コロナウイルスの影響を受け、今年度の利用者は116,884人となり、前年比84%と減少した。	新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、感染症防止対策を実施中である旨をHP等に掲出し、安心して利用できることをPRするとともに、沿線自治体と連携して、利用促進に取り組む。(平成30年度・令和元年度と2年連続の黒字路線)	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
富山県生活路線バス協議会	富山地方鉄道(株)	熊野經由八尾 ※車両減価償却費等国庫補助金	バスロケーション情報に関するQRコードを各バス停に貼付し、バスのロケーション情報をPRした。 加えて、ダイヤ改正時に沿線の商業施設ファボーレへの利便性を向上させるため、休日には他の系統を含め、20分に1本のパターンダイヤとするなど、利用者の増加に努めた。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B	<目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数> 新型コロナウイルスの影響を受け、今年度の利用者は186,851人となり、前年比87%と減少した。	新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、感染症防止対策を実施中である旨をHP等に掲出し、安心して利用できることをPRするとともに、沿線自治体・商業施設と連携して、利用促進に取り組む。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
富山県生活路線バス協議会	富山地方鉄道(株)	城端	令和2年4月1日に、運賃改定を実施するとともに、利用者から意見のあった東石黒バス停を新設し、収支の改善・利便性の向上に努めた。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B	<目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数> 新型コロナウイルスの影響を受け、今年度の利用者は102,152人となり、前年比93%と減少した。	沿線の自治体から要望が出ているバス停位置の変更を実施する等、沿線の自治体と連携し、利用促進に取り組む。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
富山県生活路線バス協議会	加越能バス(株)	脇	利用実態に見合った運行回数を見直しを図り、各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等、公共交通への利用促進に取り組んだ。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B	<目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数> 今年度の利用者数は113,024人で前年度比79.3%となり新型コロナの影響を受け輸送人員は減少した。	新型コロナ感染防止対策等、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRに努め利用促進に取り組む回復を図る。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
富山県生活路線バス協議会	加越能バス(株)	守山經由水見	利用実態に見合った運行回数を見直しを図り、各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等、公共交通への利用促進に取り組んだ。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B	<目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数> 今年度の利用者数は51,984人で前年度比80.9%となり新型コロナの影響を受け輸送人員は減少した。	新型コロナ感染防止対策等、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRに努め利用促進に取り組む回復を図る。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
富山県生活路線バス協議会	加越能バス(株)	新高岡守山經由水見	利用実態に見合った運行回数を見直しを図り、各種割引定期券の販売、バス位置情報の提供等、公共交通への利用促進に取り組んだ。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B	<目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数> 今年度の利用者数は131,080人で前年度比90.3%となり新型コロナの影響を受け輸送人員は減少した。	新型コロナ感染防止対策等、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRに努め利用促進に取り組む回復を図る。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
富山県生活路線バス協議会	加越能バス(株)	伏木經由氷見	利用実態に見合った運行回数の見直しを図り、バス位置情報の提供等や沿線市と連携し利用者の掘り起こしを行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数>今年度の利用者数は95,198人で前年度比80.3%となり新型コロナの影響を受け輸送人員は減少した。	新型コロナ感染防止対策等、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRに努め利用促進に取り組み回復を図る。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
富山県生活路線バス協議会	加越能バス(株)	仏生寺	利用実態に見合った運行回数を見直しを図り、バス位置情報の提供等や沿線市と連携し沿線の学校等へ利便性をPRし、潜在的な利用者の掘り起こしを行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数>今年度の利用者数は83,945人で前年度比91.9%となり新型コロナの影響を受け輸送人員は減少した。	新型コロナ感染防止対策等、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRに努め利用促進に取り組み回復を図る。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
富山県生活路線バス協議会	加越能バス(株)	石動	バス位置情報の提供等や沿線市と連携し沿線の学校等へ利便性をPRし、潜在的な利用者の掘り起こしを行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数>今年度の利用者数は55,538人で前年度比86.9%となり新型コロナの影響を受け輸送人員は減少した。	新型コロナ感染防止対策等、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRに努め利用促進に取り組み回復を図る。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
富山県生活路線バス協議会	加越能バス(株)	済生会・中田団地	利用実態に見合った運行回数を見直しを図り、バス位置情報の提供等や沿線市と連携し沿線の学校等へ利便性をPRし、潜在的な利用者の掘り起こしを行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数>今年度の利用者数は32,564人で前年度比92.9%となり新型コロナの影響を受け輸送人員は減少した。	新型コロナ感染防止対策等、安心安全な公共交通を沿線市と連携し又、地元住民へのPRに努め利用促進に取り組み回復を図る。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
富山県生活路線バス協議会	加越能バス(株)	城端白川郷	国内外からの観光客にも対応し、バス位置情報の提供やフリーWi-Fiの提供、また企画切符等の販売を継続し利用促進に取り組んだ。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数>今年度の利用者数は47,017人で前年度比67.1%となり新型コロナの影響を受け輸送人員は大幅に減少した。	新型コロナ感染防止対策等、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRに努めるとともに新たな企画乗車券等を企画し国内観光需要の取り込み等利用促進に取り組み回復を図る。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
富山県生活路線バス協議会	加越能バス(株)	庄川町	利用実態に見合った運行回数を見直しを図り、バス位置情報の提供等や沿線市と連携し沿線の学校等へ利便性をPRし、潜在的な利用者の掘り起こしを行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数>今年度の利用者数は102,421人で前年度比70.8%となり新型コロナの影響を受け輸送人員は大幅に減少した。	新型コロナ感染防止対策等、安心安全な公共交通を沿線市と連携しPRに努めるとともに沿線観光地の情報発信により国内観光需要の取り込み等利用促進に取り組み回復を図る。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
富山県生活路線バス協議会	西日本ジェイアールバス(株)	名金	バスロケーションシステム導入への参画や、青春18きっぷ利用者への割引施策実施等、幅広いニーズに対応した施策の実施や、継続した地域イベント等への参画等、モビリティマネジメントの取り組みにより、当該路線及び沿線地域のPRに努めた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数> 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け利用者数が減少したことから対前年59.1%に落ち込んだ	引き続きバスロケーションシステムへの参画、青春18きっぷ利用者への割引施策実施等、幅広いニーズに対応した施策の実施や、継続した地域イベント等への参画等、モビリティマネジメントの取り組みにより、当該路線及び沿線地域のPRに努める。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
富山県生活路線バス協議会	富山地铁北斗バス(株)	富山簡保保養センター ※車両減価償却費等国庫補助金	バスロケーション情報に関するQRコードを各バス停に貼付し、バスのロケーション情報をPRするとともに、富山市のおでかけ定期券や親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体と利用の促進に取り組み、利用者の増加に努めた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数> 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、今年度の利用者は73,233人で前年比87%と減少した。	新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、感染症防止対策を実施中である旨をHP等に掲出し、安心して利用できることをPRするとともに、沿線の自治体と連携し、利用促進に取り組む。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
富山県生活路線バス協議会	富山地铁北斗バス(株)	布目經由新港東口 ※車両減価償却費等国庫補助金	バスロケーション情報に関するQRコードを各バス停に貼付し、バスのロケーション情報をPRした。 沿線の学校用に割安定期券の販売を実施し、利用促進に努めたことに加え、富山市のおでかけ定期券や親子でおでかけキャンペーンなど関係自治体と利用の促進に取り組み、利用者の増加に努めた。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A <目標:県民一人当たりのバスの年間利用回数> 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたものの、沿線の学校の需要が増加したことを受け、今年の利用者は82,659人で前年比101%と増加した。	感染症防止対策を実施中である旨をHP等に掲出し、安心して利用できることをPRするとともに、沿線の自治体と連携し、利用促進に取り組む。加えて、沿線の学校と連携し、通学する利用者にとって、利便性の高いダイヤの見直しを検討し、利用促進に取り組む。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点については自己評価のとおりであり、具体的な改善策の実施について、地域一体となって進めるよう期待する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

北陸信越運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
石川県生活交通の確保に関する地域協議会	北鉄金沢バス(株)	津幡(旧道)	ダイヤや便数の見直し、利用者のニーズを捉え、利便性向上に努めた。また、利用促進を図る車内放送の継続実施を行い、利便性向上のためHPでバスの混雑状況を確認できるようにした。	A 計画どおり適切に実行された。	B 県内路線バス利用者数の維持(H30.10～R1.9)66,260人→(R1.10～R2.9)48,175人 ※減少理由:コロナ禍に伴う通勤・通学利用旅客が減少したため。	社会情勢に注視しながら必要なダイヤや便数の確保に努め、ニーズに沿ったものにし旅客の利便性の確保維持する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
石川県生活交通の確保に関する地域協議会	北鉄金沢バス(株)	津幡(新道)	ダイヤや便数の見直し、利用者のニーズを捉え、利便性向上に努めた。また、利用促進を図る車内放送の継続実施を行い、利便性向上のためHPでバスの混雑状況を確認できるようにした。	A 計画どおり適切に実行された。	B 県内路線バス利用者数の維持(H30.10～R1.9)108,420人→(R1.10～R2.9)85,553人 ※減少理由:コロナ禍に伴う通勤・通学利用旅客が減少したため。	社会情勢に注視しながら必要なダイヤや便数の確保に努め、ニーズに沿ったものにし旅客の利便性の確保維持する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
石川県生活交通の確保に関する地域協議会	北鉄金沢バス(株)	内灘	ダイヤや便数の見直し、利用者のニーズを捉え、利便性向上に努めた。また、利用促進を図る車内放送の継続実施を行い、利便性向上のためHPでバスの混雑状況を確認できるようにした。	A 計画どおり適切に実行された。	B 県内路線バス利用者数の維持(H30.10～R1.9)88,202人→(R1.10～R2.9)72,291人 ※減少理由:コロナ禍に伴う通勤・通学利用旅客が減少したため。	社会情勢に注視しながら必要なダイヤや便数の確保に努め、ニーズに沿ったものにし旅客の利便性の確保維持する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
石川県生活交通の確保に関する地域協議会	西日本ジェイアールバス(株)	名金 ※車両減価償却費等国庫補助金	バスロケーションシステム導入への参画や、青春18きっぷ利用者への割引施策実施等、幅広いニーズに対応した施策の実施や、継続した地域イベント等への参画等、モビリティマネジメントの取り組みにより、当該路線及び沿線地域のPRIに努めた。	A 計画どおり適切に実行された。	C 県内路線バス利用者数の維持(H30.10～R1.9)74,720人→(R1.10～R2.9)44,134人 ※:減少理由:コロナ禍により観光客を中心とした定期外利用が減少したため	引き続きバスロケーションシステムへの参画、青春18きっぷ利用者への割引施策実施等、幅広いニーズに対応した施策の実施や、継続した地域イベント等への参画等、モビリティマネジメントの取り組みにより、当該路線及び沿線地域のPRIに努める。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
石川県生活交通の確保に関する地域協議会	加賀温泉バス(株)	温泉山中A	地元利用者向けには加賀温泉駅でのJR接続を重視したダイヤ編成に努めるとともに、加賀市の協力で時刻表全戸配布を継続し、周知を図った。 外国人観光客対応として山中温泉バスターミナルの案内表記の外国語対応を実施し、利便性の向上を図った。	B 理由:コロナ禍によるインバウンド消失により、外国人観光客対応施策を中止したため。	B 県内路線バス利用者数の維持(H30.10～R1.9)132,930人→(R1.10～R2.9)99,124人 ※減少理由:コロナ禍により観光客を中心とした定期外利用が減少したため。	地元利用者向けにはJR接続等を重視したダイヤ編成及び時刻表全戸配布を継続する他、加賀市が推進するMaaSの取組へ適宜参画することにより、利便性の向上を図る。インバウンド対応はコロナ感染の状況を見て実施するか否かを改めて判断する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
石川県生活交通の確保に関する地域協議会	加賀温泉バス(株)	温泉山中H	地元利用者向けには加賀温泉駅でのJR接続を重視したダイヤ編成に努めるとともに、加賀市の協力で時刻表全戸配布を継続し、周知を図った。 外国人観光客対応として山中温泉バスターミナルの案内表記の外国語対応を実施し、利便性の向上を図った。	B 理由:コロナ禍によるインバウンド消失により、外国人観光客対応施策を中止したため。	B 県内路線バス利用者数の維持(H30.10～R1.9)107,564人→(R1.10～R2.9)91,611人 ※減少理由:コロナ禍により観光客を中心とした定期外利用が減少したため。	地元利用者向けにはJR接続等を重視したダイヤ編成及び時刻表全戸配布を継続する他、加賀市が推進するMaaSの取組へ適宜参画することにより、利便性の向上を図る。インバウンド対応はコロナ感染の状況を見て実施するか否かを改めて判断する。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
石川県生活交通の確保に関する地域協議会	北鉄能登バス(株)	富来	自治体と連携し、富来・高浜地域の往来を促進する回数券の販売を行うほか、バスの乗り方教室を開催してバスの利便性を沿線に周知することで利用促進に努めた。	B 理由:コロナ禍により、バスの乗り方教室の開催を断念したため。	B 県内路線バス利用者数の維持(H30.10～R1.9)165,765人→(R1.10～R2.9)133,989人 ※減少理由:コロナの感染拡大による通勤通学利用者の減少及び外出自粛による観光客を含めた定期外利用者の減少したため。	沿線の保育園の園児が描いたバスの絵を車内に掲示する「ギャラリーバス」を令和3年1～3月に運行予定。また、コロナにより開催が延期になっている「バスの乗り方教室」も、引き続き開催の可能性を探る。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
石川県生活交通の確保に関する地域協議会	能登島交通(株)	曲	和倉温泉観光協会と連携したお得な1日券の販売、七尾市による健康センター等を利用した場合の運賃割引制度、65歳以上を対象とした割引回数券の販売を継続するとともに、沿線上の観光資源(能登島周辺を回遊するイルカなど)の情報をSNS等の媒体で発信することで、更なる利用促進を図った。	A 計画どおり適切に実行された。	B 県内路線バス利用者数の維持(H30.10～R1.9)50,505人→(R1.10～R2.9)46,617人 ※:減少理由:コロナ禍により、水族館及び観光施設の休館し、観光客を含めた定期外利用者が減少したため。	和倉観光協会と連携したお得な1日券の販売継続、七尾市による健康センター等を利用した場合の運賃割引制度、65歳以上を対象とした割引回数券の販売継続、HPやSNSで情報発信し、インターネット上での顧客との距離を縮める。上記により更なる利用促進を進める。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。
中能登町地域公共交通協議会	北鉄能登バス(株)	おりひめバス(こしじコース、みおやコース) ※公有民営方式車両購入費国庫補助金	・免許返納者に進呈した回数券の利用状況の把握は継続できている。モニタリング協力については、今後実施予定。 ・観光施策との連携、交通系情報サイトへの情報提供の実施について、現在時刻表データのオープンデータ化に着手した。 ・総合時刻表マップの更新については現在編集中で令和3年3月末に発行予定。乗り方については動画を編集中で令和3年3月末までに町のCATVで放映し、YouTubeにも配信予定。 ・バス無料の日などの利用啓発事業については、これまで町のイベント開催時に実施してきたが、コロナの影響で、イベント自体が開催できず実施できなかった。	A 事業は計画どおり適切に実施された。	B ・目標収支率の達成状況 目標17.0% 実績14.5% (前年実績15.3%) ・前年度比0.8%減少した。未達成理由は、経費については、微増に留まるも、利用者数が伸び悩んだため。また、コロナの影響も要因の一つと思われる。	・引き続き免許返納者に対する取り組みを実施する。返納者からの意見を聞くため、利用後のアンケートをお願いする仕組みを構築する。 ・観光施策との連携、交通系情報サイトへの情報提供の実施についてはオープンデータ化に向けて取り組みを続ける。 ・総合時刻表マップの更新、乗り方教室(CATVの番組作成)やバス無料の日などの利用啓発事業は引き続き実施して行く。	事業実施の適切性及び目標・効果達成状況並びに事業の今後の改善点について自己評価のとおりであるが、示された改善策のみならず、あらゆる観点で改善策をご検討頂くとともに、具体的な改善策の実施について地域一体となって進めるよう期待する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日
北陸信越運輸局

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
村上市地域公共交通活性化協議会	事業者名：新潟交通観光バス㈱	村上市まちなか循環バス(小回り循環)	利用促進に向けたPR活動として、時刻表の配布を継続して行った。 また、村上総合病院の移転に伴い、運行ルートの変更を検討し、利用者の利便性向上に努めた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 1日当たりの平均利用者数を目標値として設定。新型コロナウイルス感染症の影響により、計画に位置付けられた目標を達成することができなかった。 計画に位置付けられた目標が45人/日に対して、実績が39人/日であった。	地域公共交通計画の施策に沿って、利用促進に向けたPR活動を行うと共に、利用者のニーズを調査し、ダイヤの見直しやバス停留所等利用者の利便性向上を図り、利用者の増加を目指した見直しを進める。	協議会における事業評価結果の③及び④については自己評価のとおりである。 なお、⑤の目標・効果達成状況については、新型コロナウイルス感染症の影響以外の観点からも目標が達成されなかった理由について分析し、これを明らかにする必要がある。その上で、⑥の事業の今後の改善点については、目標が達成されなかった理由に対応した改善策及びその具体化について改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。
村上市地域公共交通活性化協議会	事業者名：新潟交通観光バス㈱	村上市まちなか循環バス(大回り～小回り循環)					協議会における事業評価結果の③及び④については自己評価のとおりである。 なお、⑤の目標・効果達成状況については、新型コロナウイルス感染症の影響以外の観点からも目標が達成されなかった理由について分析し、これを明らかにする必要がある。その上で、⑥の事業の今後の改善点については、目標が達成されなかった理由に対応した改善策及びその具体化について改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
村上市地域公共交通活性化協議会	事業者名: 新潟交通観光バス㈱	村上～馬下～寒川線	沿線住民に市報・チラシ等の配布により路線バスの利用を呼びかけた。また、学割半額制度の周知を行い、利用促進を図った。さらに、村上総合病院の移転に伴い、運行ルートの変更を検討し、利用者の利便性向上に努めた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 1日当たりの平均利用者数を目標値として設定。新型コロナウイルス感染症の影響により、計画に位置付けられた目標を達成することができなかった。計画に位置付けられた目標が15人/日に対して、実績が12人/日であった。	引き続き、市報・HP等により路線バスの利用を呼びかけるとともに、学割半額制度の周知を行い、利用促進を図る。	協議会における事業評価結果の③及び④については自己評価のとおりである。 なお、⑤の目標・効果達成状況については、新型コロナウイルス感染症の影響以外の観点からも目標が達成されなかった理由について分析し、これを明らかにする必要がある。その上で、⑥の事業の今後の改善点については、目標が達成されなかった理由に対応した改善策及びその具体化について改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。
村上市地域公共交通活性化協議会	事業者名: 新潟交通観光バス㈱	村上市せなみ巡回バス	利用促進に向けたPR活動として、時刻表の配布を継続して行った。 また、村上総合病院の移転に伴い、運行ルートの変更を検討し、利用者の利便性向上に努めた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 1日当たりの平均利用者数を目標値として設定。新型コロナウイルス感染症の影響により、計画に位置付けられた目標を達成することができなかった。計画に位置付けられた目標が21人/日に対して、実績が19人/日であった。	地域公共交通計画の施策に沿って、利用促進に向けたPR活動を行うと共に、利用者のニーズを調査し、ダイヤの見直しやバス停留所等利用者の利便性向上を図り、等利用者の増加を目指した見直しを進める。	協議会における事業評価結果の③及び④については自己評価のとおりである。 なお、⑤の目標・効果達成状況については、新型コロナウイルス感染症の影響以外の観点からも目標が達成されなかった理由について分析し、これを明らかにする必要がある。その上で、⑥の事業の今後の改善点については、目標が達成されなかった理由に対応した改善策及びその具体化について改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
村上市地域公共交通活性化協議会	事業者名: 新潟交通観光バス(株)	村上～塩野町～北中線	沿線住民に市報・チラシ等の配布により路線バスの利用を呼びかけた。また、学割半額制度の周知を行い、利用促進を図った。さらに、村上総合病院の移転に伴い、運行ルートの変更を検討し、利用者の利便性向上に努めた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 1日当たりの平均利用者数を目標値として設定。新型コロナウイルス感染症の影響により、計画に位置付けられた目標を達成することができなかった。計画に位置付けられた目標が36人/日に対して、実績が33人/日であった。	引き続き、市報・HP等により路線バスの利用を呼びかけるとともに、学割半額制度の周知を行い、利用促進を図る。	協議会における事業評価結果の③及び④については自己評価のとおりである。 なお、⑤の目標・効果達成状況については、新型コロナウイルス感染症の影響以外の観点からも目標が達成されなかった理由について分析し、これを明らかにする必要がある。その上で、⑥の事業の今後の改善点については、目標が達成されなかった理由に対応した改善策及びその具体化について改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日
北陸信越運輸局

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
阿賀野市地域公共交通協議会	事業者名：阿賀野市運行系統名：前山線(700)	京和荘～前山～阿賀野市役所	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。高校新1年生向けに利用促進パンフレットを配布した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均2.0人に対し、1.9人で目標を達成できなかった。通学利用で増加がみられたが、新規利用者を獲得できなかったためと考えられる。	目標である1回平均2.0人に対し、1.9人で目標を達成できなかった。通学利用で増加がみられたが、新規利用者を獲得できなかったためと考えられる。	協議会における事業評価結果の③及び⑤までについては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、実績向上に向けて新たな具体策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。
阿賀野市地域公共交通協議会	事業者名：阿賀野市運行系統名：前山線(702)	京和荘～前山～市野山(ウオロク脇)	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標である1回平均5.4人に対し、6.7人で目標を達成した。通院に合わせたダイヤを確保し、通院利用が増加したこと及び常連利用者の買い物等による外出が増えたためと考えられる。	・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。	協議会における事業評価結果の③及び⑤までについては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここで示された改善策のみならず、さらなる実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
阿賀野市地域公共交通協議会	事業者名: 阿賀野市 運行系統 名:前山線 (703)	市野山(ウオロク脇)～前山～京和荘	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均7.5人に対し、7.1人で目標を達成できなかった。通院利用と介護施設入所者への訪問利用が減少したためと考えられる。	・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。	協議会における事業評価結果の③及び⑤までについては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここで示された改善策のみならず、実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。
阿賀野市地域公共交通協議会	事業者名: 阿賀野市 運行系統 名:神山線 (902)	笹神支所～熊堂、神山駅前～阿賀野市役所	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均11.8人に対し、11.0人で目標を達成できなかった。利用者数は横ばいの状況であったが、通院利用者が施設入所等により利用を終了したことなどが考えられる。	・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。	協議会における事業評価結果の③及び⑤までについては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここで示された改善策のみならず、実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
阿賀野市地域公共交通協議会	事業者名: 阿賀野市 運行系統 名: 神山線 (903)	阿賀野市役 所～神山駅 前～笹神支 所	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均5.6人に対し、4.1人で目標を達成できなかった。 常連利用者が外出を控えたこと、通院利用者が施設入所等により利用を終了したことが考えられる。	・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。	協議会における事業評価結果の③及び⑤までについては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここで示された改善策のみならず、実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。
阿賀野市地域公共交通協議会	事業者名: 阿賀野市 運行系統 名: 神山線 (904)	神山駅前～ 中ノ通～阿 賀野市役所	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均8.8人に対し、8.2人で目標を達成できなかった。 通院利用者が施設入所等により利用を終了したことが考えられる。	・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。	協議会における事業評価結果の③及び⑤までについては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここで示された改善策のみならず、実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
阿賀野市地域公共交通協議会	事業者名: 阿賀野市 運行系統 名: 神山線 (901)	阿賀野市役 所～中ノ通 ～笹神支所	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均6.6人に対し、5.7人で目標を達成できなかった。 通院利用者が施設入所等により利用を終了したことが考えられる。	・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。	協議会における事業評価結果の③及び⑤までについては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここで示された改善策のみならず、実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。
阿賀野市地域公共交通協議会	事業者名: 阿賀野市 運行系統 名: 神山線 (907)	阿賀野市役 所～熊堂、 中ノ通～笹 神支所	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均10.9人に対し、8.3人で目標を達成できなかった。 小学生の下校利用において、時間割変更等による利用回数が減少したこと及び新型コロナウイルス感染予防対策による臨時休業の影響が考えられる。	・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。	協議会における事業評価結果の③及び⑤までについては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここで示された改善策のみならず、実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
阿賀野市地域公共交通協議会	事業者名: 阿賀野市 運行系統 名:神山線 (951)	阿賀野市役 所~熊堂、 中ノ通、笹 支所~阿賀 野市役所	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標である1回平均5.4人に対し、6.5人で目標を達成した。 常連利用者が買い物等により外出が増えたためと考えられる。	・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。	協議会における事業評価結果の③及び⑤までについては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここで示された改善策のみならず、さらなる実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。
阿賀野市地域公共交通協議会	事業者名: 阿賀野市 運行系統 名:安田地 域循環線 (02AB)	安田支所~ 宝珠温泉あ かまつ荘~ 安田支所	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均11.2人に対し、9.6人で目標を達成できなかった。 新型コロナウイルス感染予防対策により日帰り温泉施設が臨時休業したことが影響したと考えられる。	・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。 ・日帰り温泉施設(観光部署)と連携し、誘客とバス利用を図る。	協議会における事業評価結果の③及び⑤までについては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここで示された改善策のみならず、実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
阿賀野市地域公共交通協議会	事業者名: 阿賀野市運行系統名:安田地域循環線(04AB)	安田支所～宝珠温泉あかまつ荘～安田支所	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標である1回平均5.4人に対し、5.6人で目標を達成した。 小学校の下校時刻に合わせたダイヤを確保したこと及び時間割変更等により利用回数が増えたことが考えられる。	・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。	協議会における事業評価結果の③及び⑤までについては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここで示された改善策のみならず、さらなる実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。
阿賀野市地域公共交通協議会	事業者名: 阿賀野市運行系統名:安田地域循環線(05AB)	安田公民館～宝珠温泉あかまつ荘～安田支所	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均2.0人に対し、1.5人で目標を達成できなかった。 新型コロナウイルス感染予防対策により日帰り温泉施設が臨時休業したことが影響したと考えられる。	・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。 ・日帰り温泉施設(観光部署)と連携し、誘客とバス利用を図る。	協議会における事業評価結果の③及び⑤までについては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここで示された改善策のみならず、実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
阿賀野市地域公共交通協議会	事業者名: 阿賀野市運行系統名:安田地域循環線(22B)(03AB)	横町～宝珠温泉あかまつ荘～安田公民館	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均7.5人に対し、6.7人で目標を達成できなかった。 病院入院患者への見舞利用が外出を控えたこと及び新型コロナウイルス感染予防対策により日帰り温泉施設が臨時休業したことが影響したと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・路線別時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。 ・日帰り温泉施設(観光部署)と連携し、誘客とバス利用を図る。 	協議会における事業評価結果の③及び⑤までについては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここで示された改善策のみならず、実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。
阿賀野市地域公共交通協議会	事業者名: 阿賀野市運行系統名:神山線全系統	車両減価償却費等国庫補助金、H27年11月、マイクロスバス2台を14人乗りコミュニティ2台に更新(リース)	路線別時刻表の作成・配布による啓発活動を行った。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたルート・時刻だけを抽出したオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料を免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である収支率3.1%以上及び5.3以上に対し、0.5%及び1.7%で目標を達成できなかった。 75歳以上高齢者の無料化による運賃収入の減少が要因と考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻表の作成・配布を行う。 ・市の広報紙、ホームページ等で周知を図る。 ・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。 ・運行経費の節減を図る。 	協議会における事業評価結果の③及び⑤までについては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここで示された改善策のみならず、実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

北陸信越運輸局

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
上越市地域公共交通活性化協議会	頸北観光バス(株)	運行路線：黒岩線(2) 柿崎/バスターミナル～下灰庭・米山寺～黒岩	鉄道や他のバス路線への接続に配慮したダイヤを設定することで、高齢者を中心に利用者の移動手段を維持確保した。また、柿崎区総合事務所と連携し、お得な定期情報等を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 目標：年度上半期の収支率について、前年度収支率より改善若しくは少なくとも維持する。前年度10.3%に対して実績8.9%(未達成) 事業効果：路線維持により、沿線高齢者等の日常生活に必要な移動手段を確保(達成) 目標未達成の要因：高齢者を中心とした利用者の減少により、現金収入が減り収支率が悪化(運送収入前年度比▲52千円(上半期)・収支率前年度比▲1.4%)。	引き続き、鉄道や他のバス路線への接続に配慮したダイヤを維持することで、高齢者を中心に利用者の移動手段の維持確保に努める。また、柿崎区総合事務所と連携し、お得な定期情報等を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図る。 なお、利用実績が改善されなければ、令和4年4月に路線の廃止を予定しているため、地域と連携し路線廃止後の移動手段を検討する。	協議会における事業評価結果の③から⑥までについては自己評価のとおりであり、実績向上に向けて具体的な改善策について引き続き検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。
上越市地域公共交通活性化協議会	東頭バス(株)	運行路線：安塚線 うらがわら駅前～虫川大杉駅前～保健センター前	鉄道への接続に配慮したダイヤを設定し、学生を中心に利用者の移動手段を確保した。新高校1年生に啓発資料を配布し利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 目標：前年度収支率より改善もしくは維持する。前年度47.0%に対して実績35.4%(未達成) 事業効果：路線維持により、沿線住民及び学生等の移動手段を確保(達成) 目標未達成の要因：事業者の乗合事業における費用は若干減少したものの、他市における減便により費用単価が上昇し、路線ごとの費用が増加した。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用者数が減少し、収入全般(現金・回数券・定期券)が減り、収支率が悪化した。(運送収入前年度比▲696千円・収支率前年度比▲11.6%)	引き続き、鉄道や他のバス路線への接続に配慮したダイヤを維持することで、学生を中心に利用者の移動手段の維持確保に努める。また、安塚区総合事務所と連携し、お得な定期情報等を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図る。	協議会における事業評価結果の③及び⑤までについては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここで示された改善策のみならず、実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果		
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果		
上越市地域公共交通活性化協議会	くびき野バス(株)	運行路線: 島田線 高田駅前～岡原～曾根田	鉄道(高田駅)や幹線系統への接続に配慮したダイヤを設定し、沿線住民の移動手段を維持確保した。市内の高校に通う学生を中心に、啓発資料等を配布して利用促進を図った。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A	目標: 前年度収支率より改善もしくは維持する。前年度19.0%に対して実績19.4%(達成) 事業効果: 路線維持により、沿線住民の通勤・通学、通院などの移動手段を確保(達成) 目標達成の要因: 新型コロナウイルス感染拡大の影響により運送収入(現金・回数券)が減ったものの、雇用調整助成金等の収入があったため、収支率は改善した。(収支率前年度比0.4%)	引き続き、鉄道や幹線系統への接続に配慮したダイヤを維持することで、沿線住民の移動手段の維持確保に努める。また、板倉区総合事務所と連携し、お得な定期情報等を事務所よりやチラシにより周知し利用促進を図るほか、令和3年4月に利用が少ない時間帯を減便し、効率化を図る。	協議会における事業評価結果の③から⑥までについては自己評価のとおりであり、具体的な改善策の実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。
上越市地域公共交通活性化協議会	頸城自動車(株)	運行路線: 佐内・直江津循環線 直江津駅前～労災病院前～佐内入口	鉄道(直江津駅)や幹線系統への接続に配慮したダイヤを設定し、高齢者を中心に利用者の移動手段を維持確保した。お得な定期情報等を掲載した高齢者向けの啓発資料を労災病院や直江津ショッピングセンター前案内所へ設置し、利用促進を図った。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C	目標: 前年度収支率より改善もしくは維持する。前年度13.2%に対して実績10.2%(未達成) 事業効果: 路線維持により、高齢者を中心に利用者の通院及び買い物等の移動手段を確保(達成) 目標未達成の要因: 新型コロナウイルス感染拡大の影響により通院等による利用が減少し、運送収入が減ったため、収支率が悪化した。(運送収入前年度比▲268千円・収支率前年度比▲3.0%)	引き続き、鉄道や幹線系統への接続に配慮したダイヤを維持することで、高齢者を中心に利用者の移動手段の維持確保に努める。また、お得な定期情報等を掲載した高齢者向けの啓発資料を労災病院へ設置するとともに、直江津ショッピングセンターでの買い物目的の利用者獲得のため、頸城自動車と連携して利用促進を図る。	協議会における事業評価結果の③及び⑤までについては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここで示された改善策のみならず、実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。
上越市地域公共交通活性化協議会	アイエムタクシー(株)	運行路線: 岡沢ルート 新井バスターミナル～中郷区総合事務所前～岡沢	鉄道や幹線系統への接続、通学に配慮したダイヤを設定し、沿線の中学生や高齢者を中心に利用者の移動手段の維持確保に努めた。また、中郷区総合事務所と連携し、乗合タクシーの利用方法等を事務所よりやチラシにより周知し、利用促進を図った。 なお、令和2年10月に、高齢者の通院需要に対応するため、午前中心のダイヤ設定や医療機関付近に新たに停留所を設けルート変更を行ったほか、通院帰りの利用が多い、昼のデマンド便を定時便に変更した。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C	目標: 前年度収支率より改善もしくは維持する。前年度10.5%に対して実績8.6%(未達成) 事業効果: 路線維持により、沿線の中学生の通学や高齢者の通院等の日常生活に必要な移動手段を確保(達成) 目標未達成の要因: 利用者の高齢化や新型コロナウイルス感染拡大の影響により現金利用を中心に運送収入が減り、収支率が悪化した。(利用者数R1:3,872人→R2:2,586人・運送収入前年度比▲215千円・収支率前年度比▲1.9%)	沿線の中学生や高齢者を中心に利用者の移動手段の維持確保に努める。また、中郷区総合事務所と連携し、乗合タクシーの利用方法等を事務所よりやチラシにより周知し利用促進を図る。	協議会における事業評価結果の③及び④については自己評価のとおりである。 なお、⑤の目標・効果達成状況については、当該路線において、高齢化の進展により利用が減少した理由について分析し、これを明らかにする必要がある。その上で、⑥の事業の今後の改善点については、目標が達成されなかった理由に対応した改善策及びその具体化について改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果		
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果		
上越市地域公共交通活性化協議会	東頭バス(株)	<p>運行路線:月影・下保倉・末広ルート(1)、月影・下保倉・末広ルート(2)</p> <p>うらがわら駅～浦川原区中心部～谷</p> <p>運行路線:上柿野ルート</p> <p>うらがわら駅～上柿野～うらがわら駅</p> <p>運行路線:小麦平ルート</p> <p>うらがわら駅～小麦平～うらがわら駅</p>	<p>小学校の登下校時間、鉄道(うらがわら駅)との接続に配慮したダイヤを設定し、小学生を中心に沿線住民の移動手段を維持確保した。また、浦川原区総合事務所と連携し、お得な定期情報等を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図る。なお、令和2年10月に、沿線のニーズを踏まえたダイヤの見直しを行った。</p>	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	A	<p>目標:前年度収支率より改善もしくは維持する。前年度17.7%に対して実績18.1%(達成)</p> <p>事業効果:路線維持により、沿線の小学生や高齢者を中心に通学、通院及び買い物等の移動手段を確保(達成)</p> <p>目標達成の要因:燃料費の単価が下がったことや、車両の入替がなく固定資産償却費等が減少したことにより、経常費用が減少し、収支率が改善した。(経常費用前年度比▲17千円・収支率前年度比0.4%)</p>	<p>引き続き、小学生の登下校時間、鉄道との接続に配慮したダイヤを維持することで、小学生を中心に沿線住民の移動手段の確保維持に努める。また、浦川原区総合事務所と連携し、お得な定期情報等を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図る。なお、上柿野ルート・小麦平ルートは利用実績が改善されなければ、令和3年10月に路線の廃止を予定しているため、地域と連携し路線廃止後の移動手段を検討する。</p>	<p>協議会における事業評価結果の③から⑥までについては自己評価のとおりであり、具体的な改善策の実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。</p>
上越市地域公共交通活性化協議会	くびき野バス(株)	<p>運行路線:真砂・岡田線</p> <p>高田駅前～真砂寺前～北坪山上</p>	<p>鉄道(高田駅)との接続に配慮したダイヤを設定し、沿線住民の移動手段を維持確保した。市内の高校に通う学生を中心に、啓発資料を配布して利用促進を図った。なお、令和2年10月に、路線を三和体育館までとし、効率性を高めた。</p>	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	C	<p>目標:前年度収支率より改善もしくは維持する。前年度19.1%に対して実績18.9%(未達成)</p> <p>事業効果:路線維持により、沿線住民及び学生等の移動手段を確保(達成)</p> <p>目標未達成の要因:新型コロナウイルス感染拡大の影響により、人件費が増加したことや運送収入全般(現金・回数券・定期券)が減少したことにより、収支率が悪化した。(経常費用前年度比482千円・運送収入前年度比▲77千円・収支率前年度比▲0.2%)</p>	<p>引き続き、鉄道との接続に配慮したダイヤを維持することで、沿線住民の移動手段の維持確保に努める。また、三和区総合事務所と連携し、お得な定期情報等を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図る。</p>	<p>協議会における事業評価結果の③及び⑤までについては自己評価のとおりである。なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここで示された改善策のみならず、実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。</p>

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
上越市地域公共交通活性化協議会	頸城自動車㈱	運行路線:直江津・浦川原線(2) マルケーバスセンター～青野十文字～保倉川橋	鉄道(直江津駅及びうらがわら駅)との接続や小学生の通学に配慮したダイヤを設定し、沿線住民の移動手段を維持確保した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 目標:年度上半期の収支率について、前年度収支率より改善もしくは維持する。前年度18.9%※に対して実績17.7%(未達成) 事業効果:路線維持により、沿線住民の通学・通勤利用等の移動手段を確保(達成) 目標未達成の要因:新型コロナウイルス感染拡大の影響により人件費が増加するなど、経常費用が増加し、収支率が悪化した。(経常費用前年度比374千円(通年)・収支率前年度比▲1.2%) ※収支率の算出方法を変更したため、令和元年度事業評価で記載した当年度の収支率と数値が異なる。(令和元年度事業評価では直江津・浦川原線の全系統により算出したが、令和2年度は上半期のみ収支率を算出するため、補助対象系統のみで算出した。)	引き続き、鉄道、幹線系統との接続に配慮したダイヤを維持することで、沿線住民の移動手段の維持確保に努める。	協議会における事業評価結果の③及び⑤までについては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここで示された改善策のみならず、実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。
上越市地域公共交通活性化協議会	東頸バス㈱	運行路線:大平線(1) 浦川原小学校前～虫川大杉駅前～大島コミュニティプラザ前	小学生の登下校時間、幹線系統との接続に配慮したダイヤを設定し、小学生を中心に沿線住民の移動手段を維持確保した。また、浦川原・大島区総合事務所と連携し、お得な定期情報等を事務所だよりやチラシにより周知し、利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 目標:年度上半期の収支率について、前年度収支率より改善もしくは維持する。前年度15.7%に対して実績14.5%(未達成) 事業効果:路線維持により、沿線住民及び学生等の移動手段を確保(達成) 目標未達成の要因:事業者の乗合事業における費用は若干減少したものの、他市における減便により費用単価が上昇し、路線ごとの費用が増加した。また、現金・回数券利用を中心に運送収入が減り、収支率が悪化した。(運送収入前年度比▲74千円(上半期)・収支率前年度比▲1.2%)	引き続き、幹線系統との接続に配慮したダイヤの維持や小学生の登下校の移動手段の維持確保に努めるとともに、浦川原・大島区総合事務所と連携し、お得な定期情報等を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図る。また、令和4年4月の再編に向け、路線の統合等を検討し効率化を図る。	協議会における事業評価結果の③から⑥までについては自己評価のとおりであり、実績向上に向けて具体的な改善策について引き続き検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
上越市地域公共交通活性化協議会	東頭バス㈱	運行路線:大平線(2) 浦川原小学校前～虫川大杉駅前～小谷島	小学生の登下校時間、幹線系統との接続に配慮したダイヤを設定し、小学生を中心に沿線住民の移動手段を維持確保した。また、浦川原・大島区総合事務所と連携し、お得な定期情報等を事務所だよりやチラシにより周知し、利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 目標:年度上半期の収支率について、前年度収支率より改善もしくは維持する。前年度15.7%に対して実績14.5%(未達成) 事業効果:路線維持により、沿線住民及び学生等の移動手段を確保(達成) 目標未達成の要因:事業者の乗合事業における費用は若干減少したものの、他市における減便により費用単価が上昇し、路線ごとの費用が増加した。また、現金・回数券利用を中心に運送収入が減り、収支率が悪化した。(運送収入前年度比▲74千円(上半期)・収支率前年度比▲1.2%)	引き続き、幹線系統との接続に配慮したダイヤの維持や小学生の登下校の移動手段の維持確保に努めるとともに、浦川原・大島区総合事務所と連携し、お得な定期情報等を事務所だよりやチラシにより周知し利用促進を図る。また、令和4年4月の再編に向け、路線の統合等を検討し効率化を図る。	協議会における事業評価結果の③から⑥までについては自己評価のとおりであり、実績向上に向けて具体的な改善策について引き続き検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。
上越市地域公共交通活性化協議会	上越市	運行路線:名立区自家用有償運送(系統4) うみてらす名立前～ろばた館前～東飛山 運行路線:名立区自家用有償運送(系統5) コミュニティプラザ前～ろばた館前～東飛山 運行経路:名立区自家用有償運送(系統6) コミュニティプラザ前～名立駅前～宝田小学校前	小中学生の登下校時間、幹線系統との接続に配慮したダイヤを設定し、小中学生を中心に沿線住民の移動手段を維持確保した。また、公共施設(ろばた館)との提携やチラシを配布し、利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 目標:年度上半期の収支率について、前年度収支率より改善もしくは維持する。前年度8.3%に対して実績7.4%(未達成) 事業効果:路線維持により、沿線住民及び学生等の通学や通院などの移動手段を確保(達成) 目標未達成の要因:当市が実施する自家用有償旅客運送全体の経常費用が人件費を中心に増加したほか、一般利用の減少により、経常費用に対する運送収入が減少し(運送収入前年度(通年)1,018千円に対して当年度上半期444千円)、収支率が悪化した。(収支率前年度比▲0.9%)	引き続き、小中学生の登下校時間に配慮したダイヤを維持することで、小中学生を中心に沿線住民の移動手段の維持確保に努めるとともに、名立区総合事務所と連携し、お得な乗車券を設定し利用促進を図る。(高校生向け定期券・土日乗り放題乗車券)	協議会における事業評価結果の③から⑤までについては自己評価のとおりである。なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここで示された改善策のみならず、実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果		
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果		
上越市地域公共交通活性化協議会	頭北観光バス(株)	<p>運行路線: 吉川西部循環線(系統1: 吉川くびき駅線) 吉川中学校・吉川区総合事務所前～くびき駅前～吉川区総合事務所前・吉川中学校</p> <p>運行路線: 吉川西部循環線(系統2: 上下浜駅線) 吉川区総合事務所前～上下浜駅前～吉川区総合事務所前・吉川中学校</p>	<p>学生の登下校時間、鉄道(上下浜駅、くびき駅)との接続に配慮したダイヤを設定し、学生を中心に沿線住民の移動手段を維持確保した。また、吉川区総合事務所と連携し、お得な定期情報等を事務所日よりやチラシにより周知し、利用促進を図った。</p>	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	C	<p>目標: 年度上半期の収支率について、前年度収支率より改善もしくは維持する。前年度40.9%に対して実績40.7%(未達成) 事業効果: 路線維持により、沿線住民及び学生等の通学や通院などの移動手段を確保(達成) 目標未達成の要因: 現金利用による運送収入は増加した(前年度比43千円(上半期))ものの、中学生・高校生の利用が中心である定期券収入が減少し、運送収入全体で前年度比▲11千円(上半期)となり、収支率が悪化した(収支率前年度比▲0.2%)。</p>	<p>引き続き、学生の登下校時間、鉄道との接続に配慮したダイヤを維持することで、学生や沿線住民の移動手段の維持確保に努める。また、吉川区総合事務所と連携し、お得な定期情報等を事務所日よりやチラシにより周知し利用促進を図る。</p>	<p>協議会における事業評価結果の③及び⑤までについては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここで示された改善策のみならず、実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。</p>
上越市地域公共交通活性化協議会	くびき野バス(株)	<p>運行路線: 青柳線(下稲塚経由) 高田駅前～中央病院・下稲塚～青柳</p> <p>運行路線: 青柳線(松野木経由) 高田駅前～中央病院・松野木～青柳</p>	<p>鉄道(高田駅)や幹線系統との接続に配慮したダイヤを設定し、沿線住民の移動手段を維持確保した。また、中央病院に高齢者を対象とした啓発資料を設置し利用促進を図った。</p>	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	A	<p>目標: 年度上半期の収支率について、前年度収支率より改善もしくは維持する。前年度15.8%※に対して実績17.8%(達成) 事業効果: 沿線住民及び高齢者の通院などの移動手段を確保(達成) 目標達成の要因: 新型コロナウイルス感染拡大の影響により人件費等の経常費用が増加したものの、定期券利用を中心に運送収入が増えたほか、雇用調整助成金等の収入があったため、収支率は改善した。(運送収入前年度比37千円(上半期)・収支率前年度比2.0%) ※収支率の算出方法を変更したため、令和元年度事業評価で記載した当年度の収支率と数値が異なる。(令和元年度事業評価では青柳線の全系統により算出したが、令和2年度は上半期のみの収支率を算出するため、補助対象系統のみで算出した。)</p>	<p>引き続き、鉄道・幹線系統との接続に配慮したダイヤを維持することで、沿線住民の移動手段の維持確保に努める。また、中央病院に高齢者向け啓発資料を設置することや清里区総合事務所と連携し、お得な定期情報等を事務所日よりやチラシにより周知し利用促進を図る。 なお、令和3年4月に、路線を地域の生活拠点である清里区総合事務所までとし、効率性を高める。</p>	<p>協議会における事業評価結果の③から⑥までについては自己評価のとおりであり、具体的な改善策の実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

北陸信越運輸局

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
見附市地域公共交通活性化協議会	越後交通(株)	<p>コミュニティバス (B2通常) (B2通常) 【運行期間 R1.10.1～R2.9.30】</p> <p>コミュニティバス (B2通常中之島ルート) 【運行期間 R1.10.1～R2.3.31】</p>	<p>①早朝便(おはようライナー)を新ルートに加え、通勤者のニーズに応えると共に、時刻表や運行時間の変更を行い、利便性の向上に努めた。また、ルート再編の準備のため、動態調査やアンケートなどを実施し、準備を進めた。</p> <p>②普段公共交通を利用しない人たちに対し、利用するきっかけを作るため、保育園や幼稚園児による車内外ラッピングを実施。(4回実施)保護者を始めとする関係者へ案内を行い、乗車のきっかけ作りを行った。</p> <p>③バス待合場所にベンチを設置し、整備を行った。(5箇所)</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>B</p> <p>コミュニティバス利用者 ・実績167,243人 ・前年185,651人</p> <p>※目標達成率85.8%、対前年比90%(計画目標数は195,000人)</p> <p>①新型コロナウイルス感染症が拡大し緊急事態宣言が発令された前後の3～6月は43,786人であり、前年同月比約73.8%であった。しかし、その間も含め減便することなく運行を行い、最終的には約90%まで回復することが出来た。そのことから、利便性向上の目標は概ね達成できたものと判断する。 また、各種調査については、多くの意見をアンケートで取ることが出来た。動態調査や人口分布等の調査を行い、予定通り準備を進めることが出来た。</p> <p>②計画通り、乗車のきっかけ作りを行った。</p> <p>③停留所にベンチ設置を行い待合環境の整備を計画通り行った。</p>	<p>・利用者目標169,000人(地域公共交通計画の目標数)</p> <p>①コミュニティバスの効率的な運行。新計画を基に、ルート再編、時刻表の変更などの準備などを行う。</p> <p>②利用者にとって分かりやすい情報提供を行う。従来の時刻表の他、携帯版時刻表の作成、インターネットでの経路検索の整備を行う。</p> <p>③モビリティマネジメントの推進。普段公共交通を利用しない人への、利用促進を行う。</p>	<p>協議会における事業評価結果の③から⑥までについては自己評価のとおりであり、実績向上に向けて具体的な改善策について引き続き検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。</p>
